

第34回首都圏中央連絡自動車道建設促進会議総会を開催します ～日本経済を牽引する、圏央道の早期完成を！～

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、都心から半径約40～60km、延長約300kmの高規格道路で首都圏三環状道路の一つとなっています。圏央道は、経済活動の生産性を向上させ、生産拡大に資するとともに、企業立地の促進や新たな観光需要の創出など、経済に好循環をもたらすストック効果を発揮し、国際競争力の強化や地方創生の実現に寄与することが期待されています。

このため、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、千葉県、横浜市、千葉市、相模原市の関係8都縣市および圏央道の建設促進に賛同する81市町村は、「首都圏中央連絡自動車道建設促進会議」を組織し圏央道が早期に建設されるよう積極的に活動しています。

このたび、総会を開催し、圏央道の早期完成を求める決議を行い、総会終了後、国土交通大臣等への要望活動を行いますので、お知らせします。

1 日時

令和7年10月31日（金）13：30～14：30

2 場所

砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー（東京都千代田区平河町2-7-4）

※会場には記者席を用意しています。

3 主催

首都圏中央連絡自動車道建設促進会議

（令和7年度会長 茨城県知事 大井川 和彦）

4 次第

別紙のとおり

5 来賓

国会議員、8都州市の議会議員 他

6 要望先

国土交通大臣、財務大臣、衆参国土交通委員長、国会議員、国土交通省、財務省、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社